

危険業務従事者叙勲



〈瑞宝双光章〉
元3等陸尉

たけなみ まさみち
竹波 正通さん (61)
(落合町近似)

「この受章は、自衛官として使命感を持ち務めることができ、家族の理解と協力があつたからです。平成7年に発生した阪神・淡路大震災の災害支援活動は忘れられませんが」と振り返る竹波さん。
昭和46年3月、陸上自衛隊教育隊に入隊。中部方面隊千僧駐屯地の第3師団第3施設大隊に配属され、岡山地方協力本部、三軒屋弾薬支処を経て、平成19年に退職するまで、国の平和と国民の生命と財産を守るために尽力しました。



〈瑞宝単光章〉
元岡山県警部

おおうち たかあき
大内 孝昭さん (71)
(巨瀬町)

「元気に勤められたのは家族のおかげ、先輩や同僚の支援があつたからこそ受章です。白バイ隊員の期間が長く、いつも緊張して勤務に当たっていました。昭和天皇皇后両陛下を先導したのが一番の思い出です」と話す大内さん。
昭和38年10月、警察学校に入校。昭和39年岡山西警察署に配属。県警本部、倉敷警察署、岡山東警察署、児島警察署を経て、平成14年に退職するまで、地域の安全を守り、防犯に努めました。

■問い合わせ 秘書政策課公聴広報係 ☎②10210

教育長表彰

高梁公民館講座の講師として、多年にわたり生涯学習の発展に寄与した2人に市教育委員会教育長感謝状が贈呈されました。

水墨 南画講師 高見 眞輔さん (77) (岡山市)

いきいきクラブ講師 河内 留美子さん (54) (吉備中央町)

■問い合わせ 社会教育課生涯学習係 ☎②11514



暑い夏はプールへ行こう！ 市民プールを開設します

今年もプールの季節がやってきました。7月20日(日)から次のおり市民プールを開設します。夏の暑さをプールに行き行って乗り切りましょう！皆様のご来場をお待ちしています。

■問い合わせ スポーツ振興課スポーツ振興係 ☎②10425

◆開設プール 高梁市民プール (落合町近似 93-1) ☎②2931
有漢市民プール (有漢町有漢 3387) ☎⑤73200
成羽市民プール (成羽町成羽 601) ☎④3211
(坂本市民プールは老朽化のため開設しません。)

◆利用期間 7月20日(日)～8月17日(日) 正午～午後4時

◆入場料 1人1回につき
高梁市民プール：小学生70円、中学生110円、高校生140円、大人180円
有漢・成羽市民プール：小学生40円、中学生50円、高校生70円、大人90円
◆利用の心得 小学4年生以下は、付き添いの保護者(16歳以上)がいないと入場できません。
小学2年生以下は、付き添いの保護者と一緒に入れば50mプールで遊泳することができます。

高梁市民プールが新しくなりました

高梁市民プール(落合町近似)は、施設の老朽化に伴う改築工事を行い、安全対策・環境へ配慮した施設として完成しました。新しくなったプールは、転倒防止の防滑シートや排水口の吸い込み防止などの事故防止・安全対策が施され、プール排水の下水道への放流、また、車椅子対応の駐車場区画やスロープ設置等のバリアフリー対策など、さまざまな改善を行っています。



事業概要

◆総事業費 2億9180万円 (うち国庫補助金：1億4590万円)

施設概要

◆本プール サイズ：50m×15m、水深：1.1m～1.3m、コース数：7コース(幅2.0m)

◆補助プール サイズ：15m×6m、水深：0.5m

◆管理棟 壁式RC造(487.22㎡)

■問い合わせ スポーツ振興課施設係 ☎②10425

一般社団法人高梁市体育協会が設立されました



高梁市体育協会が平成26年4月より、一般社団法人になりました。5月21日に高梁国際ホテルで発会式を行い、関係者への周知を行いました。今後も競技スポーツや生涯スポーツの普及推進にご協力をお願いいたします。

◆名称 一般社団法人高梁市体育協会
◆住所 高梁市落合町近似267-7 (高梁市民体育館内)
◆連絡先 電話番号 ②10337 ファクス ②10338
メール：info@takahashi-taikyo.or.jp
ホームページ：http://www.takahashi-taikyo.or.jp/

■問い合わせ スポーツ振興課スポーツ振興係 ☎②10425

◆在宅医療連携拠点事業通信◆

第5回

～高梁版情報共有書(地域連携パス)について～

皆さんは「情報共有書」という言葉を聞いたことがありますか? 「情報共有書」とは、介護サービスの利用者が通院・入院した時に、ケースワーカーなどが記録した生活状況や症状などを病院に提供しますが、その際、必要な情報だけを選択して利用者の情報を共有するための書類です。備北保健所のホームページに掲載されており、高梁市ホームページからも閲覧できるので、ご覧になったことがある人いるのではないのでしょうか。この情報共有書に関心を抱いた私たちは、高梁地域医療連携実務者協議会の会長である佐藤剛紀さんに、「高梁版情報共有書(地域連携パス)」についてお聞きしてきました。

情報共有書は、医療サービスと介護サービスを結びとくときに、スムーズな情報の伝達と共通理解を図ることを目的としているので、いろいろな工夫がなされています。記入項目の一部を選択的に記載することで、記入時間を短縮する工夫がなされ、特に必要な情報を記述式に記載することで、多職種間での情報共有が可能になっています。また、病院ごとに異なっていた医療用語等を統一しています。つまり、情報共有書があることで、医療と介護の双方向での情報共有と、専門職の間での意思疎通が可能となり、利用者の生活の質を向上することができるのです。情報共有書は主に手渡しで行われるため、専門職同士の関係が深まることと、個人情報の保護が徹底されていることもわかりました。

高梁市では、どの専門職でも共通の理解ができるように「情報共有書」を活用して、切れ目のないサービス提供を目指していますので、ぜひ、備北保健所および高梁市ホームページをご覧ください。

◆高梁版情報共有書(地域連携パス)について ⇒ <http://www.pref.okayama.jp/page/detail-57625.html>

【インタビュー】吉備国際大学学生調査隊の小川祥希さん田中由似さん(社会福祉学科2年)

■問い合わせ 保険課連携推進係 ☎②10304